



WEBにも掲載しています

大崎第一
地域ニュース



はなぐるま

第175号

2025.2.20 発行

編集 はなぐるま編集委員会

〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3 TEL:3491-2000

sakila@city.shinagawa.tokyo.jp FAX:3491-2002

発行元 大崎第一地域センター

かるたに見るわが街、しながわ⑥

品川区には「しながわ歌留多」「品川ふる里かるた」の二つのかるたがあります。

今号では、区内全般の歴史や文化を対象としている「しながわ歌留多」を紹介させていただきます。

ふ ふるさとの ねんねのねむの木 子守歌

「ねむの木の子守歌」は、上皇后美智子さまが高校時代に作られた詩です。

ねんねの ねむの木 眠りの木
そとゆすった その枝に
遠い昔の 夜の調べ
ねんねの ねむの木 子守歌

薄紅（うすれない）の花の咲く
ねむの木陰（こかげ）で ふと聞いた
小さなさやき ねむの声
ねんね ねんねと 歌ってた

故郷（ふるさと）の夜（よ）の ねむの木は
今日も歌って いるでしよか
あの日の夜の ささやきを
ねむの木 ねんねの木 子守歌

（掲載許諾 社会福祉法人日本肢体不自由児協会）

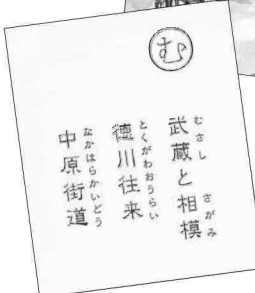
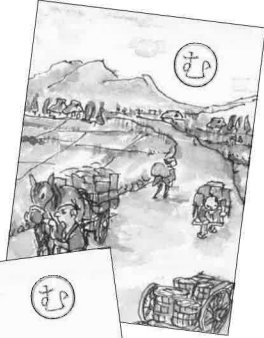
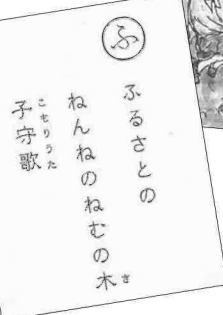
この「ねむの木の子守歌」に公園名が由来する「ねむの木の庭」（東五反田5-19-5）は、上皇后美智子さまのご実家・正田邸の跡地を品川区が整備し、2004年に開園しました。

シンボルツリーとしてネムノキが植えられており、6月中旬頃に可憐な花を咲かせます。他にも、上皇后さまゆかりの樹木やお歌の中で読まれた草花、鮮やかなオレンジ色のバラ「プリンスミチコ」などが、来園者の目を楽しませています。

（営業時間：9時～17時 年末年始休）（編集委員 外山）

む 武蔵と相模 徳川往来 中原街道

「旧中原街道」は虎の門から五反田・旗の台・小杉を通り、平塚市中原に至る道路で、江戸時代は東海道が整備されるまで沢山の旅行者で賑わっていたようです。徳川家康も鷹狩や、中原に築いた御殿、駿府の城との往来に通った道です。このうち現在残っている旧中原街道は、西五反田6丁目から標識を見て入り、荏原1、2丁目を通り、平塚橋の手前までの約1キロ足らずです。街道に入り少し歩くと右手に「子別地蔵」が立っています。ここは昔から桐ヶ谷火葬場に続く道筋で、子供に先立たれた親がその亡骸を見送った場所と伝えられており、今でも沢山の人がお参りをし、お花、千羽鶴などの供物が絶えることがありません。また桐（又は霧ヶ谷）の地名はその昔この辺りは桐の木が多く、また霧の出る丘陵地だったことも伺えます。桐ヶ谷通りを横切るとすぐ左手に「旧中原街道供養塔群（1）」があり、碑文には近隣17か村の名が連なっていて、当時の庶民信仰の広がりが見える貴重な供養塔です。さらに「星薬科大学」（小説家 星新一氏の父が設立された学校）の丸屋根の講堂を右に見て街道を進むと、左手に子育て地蔵として知られている「戸越地蔵尊（旧中原街道供養塔群（2）」）があり、寄付者に



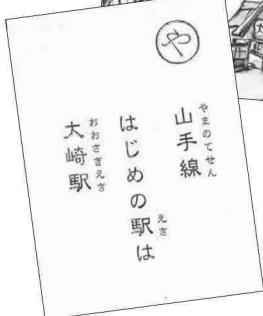
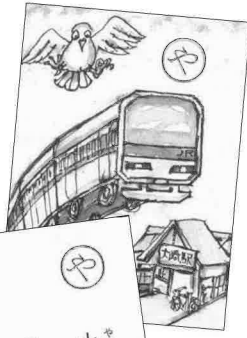
池波正太郎氏の名前も見えます。こうした江戸時代の史跡が今も大切に保存されている街道は、尋ねる人に何か昔懐かしい雰囲気を感じられるお手頃な散歩道ではないでしょうか。

（編集長 久保田）

や 山手線はじめの駅は大崎駅

これは品川かるた「や」の読み札です。山手線の起点は品川といわれています。ではなぜ初めの駅は大崎駅となるのでしょうか。大崎駅は昔は貨物駅としても親しまれていました。もう一つ、車両管理センターがあることでも知られています。つまり列車管理上の基本駅となっているということです。山手線はぐるぐる回って走っていますが、大崎の車庫を出て大崎の車庫に入る走行を目にしますが、大崎始発というアナウンスを聞いた覚えのある方はいると思いますが、実はそうだったようです。

（編集委員 服部）



大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかにも SNS やサイトで、地域の様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！

※後日、地域共創メディア「大崎×五反田 LINK」にカラーの記事が掲載されます。



X (旧: Twitter)
@osakidai1



Instagram
osakidai1



大崎×五反田 Link
OSAKI x GOTANDA LINK

地域共創メディア
『大崎×五反田 LINK』

